

県高P連 健全育成第4分科会 「人権教育」報告

令和元年5月12日
平成30年度健全育成分科会 第2回全体会

1

平成30年度健全育成第4分科会 メンバー紹介

●メンバー

募集した分科会員 3名、高P連役員、理事 7名
合計10名

2 | 平成29年度活動実績

●メンバー

PTA会長6名（募集）、高P連役員3名 合計9名

●平成29年12月県大会

- ◆LGBT 言葉の意味や制服に関する近況
- ◆インクルーシブ教育 主旨や県立高校改革における位置づけ
- ◆奨学金 制度の現状について
- ◆いじめ RJ（修復的手法）による解決法の紹介

●平成30年3月勉強会

- ◆インクルーシブ教育について、県教育委員会インクルーシブ教育推進課より制度の主旨や現状について説明
- ◆パイロット校（足柄高校）の状況（生徒作文や校長先生のお話）

3 | 平成30年度の活動

●平成29年度の実績やアンケートの状況を踏まえ、平成30年度の人権教育のテーマを選定

- ① インクルーシブ教育
- ② 貧困が及ぼす青少年への影響
- ③ 青少年の性の問題
- ④ マイノリティー

4 | 活動内容一覧

日付	項目	内容
H30.8.25	第1回分科会	・テーマ内容確認、今年度の進め方
H30.9.25	第2回分科会	・県大会、勉強会の内容検討
H30.10.28	第3回分科会	・県大会、勉強会の内容検討 ・貧困が生む生活格差、高校生の性交経験と生活環境・保健指導について共有
H30.11.18	第4回分科会	・県大会実施内容の最終化、勉強会の内容検討 ・「自画撮り被害」について共有
H30.12.1	県高P連大会	
H31.1.27	第5回分科会	・県大会振り返り、勉強会の内容検討
H31.2.17	第6回分科会	・勉強会の内容検討
H31.3.23	勉強会	
R1.5.12	全体会	本日

県高P連大会第3分科会報告

5 | H30.12.1 県高P連大会第3分科会 「LGBT ALLYになろう！」

- 参加者136名（募集締め切り時点）
- 県大会ではLGBTについて講師をお招きしLGBTの基礎について講演を実施

日本セクシュアルマイノリティ協会認定講師
大手学習塾に長年勤務。教室長・エリアマネージャーを経て、
教材やキャリア教育ツールの開発に携わる。
カウンセラーとして独立を機にカミングアウト。
多様な方々をメンタル・キャリアの両面から支援しつつ、協会のメンバーとしても活動している。

6 | L G B Tの基礎について講演を実施

LGBTって何だろう

LGBTとは

※本資料はLGBTという言葉を性的マイノリティの総称として用いています。また、一部分かりやすさに重きを置いた表現を使用しております。

L…レズビアン(女性同性愛者)
G…ゲイ(男性同性愛者)
B…バイセクシュアル(両性愛者)
T…トランスジェンダー
(生まれた時に割り当てられた性別と心の性別が一致していない)

4つの言葉の頭文字を併せた言葉
すべてのセクシュアルマイノリティを包括して表す場合もある

L G B → 「性的指向」に
関係する
自分がどの性別に対して性的欲望や恋愛感情を持つかに関する自己認識

T → 「性自認」に
関係する
自分自身の性別に関する自己認識
※「男」と「女」のいずれかであるとは限らない

どのくらいいるの？

日本におけるLGBTの割合は7.6%程度とされています。
(電通ダイバーシティラボ調べ)
およそ13人に1人は当事者がいることになる。
30人のクラスであれば、2~3人は当事者がいる計算に。

当事者だけでなく、家族や友人、先生など大勢の人に関わりがある

©2018JLGAAssociation

様々な性

性別を『身体の性』『心の性(性自認)』『好きになる性(性的指向)』に分けて考えます

身体的性
心の性
好きになる性

1. 男...ゲイ 2. 女...トランスジェンダー 3. 男...レズビアン 4. 女...バイセクシュアル (ストローなど)
(すべての性を表すわけではありません)

教育現場での悩み(例)

就学前・小学校

- 同性の友人の事を好きになる
- 周りと違うことに不安を覚える(遊び・1人称等)

中学校・高等学校

- 決められた制服の着用を苦痛に感じる
- 男女別の授業などを苦痛に感じる
- 自身の身体の成長に嫌悪感を抱く
- 理解者がいないという孤独感

アライの必要性

LGBT当事者 アライ 社会 → 理解者の増加 → LGBT当事者 アライ 社会

アライが増えることで社会の理解の促進に

すべての性に、ひとりじゃない安心を
JLGA 日本セクシュアルマイノリティ協会
JAPAN Lesbian, Gay, Bisexual, Trans and Intersex Association
お問合せ: <https://jga.or.jp/form/contact.html>
HP: <https://jga.or.jp/>

©2018JLGAAssociation

資料は県高P連ホームページからダウンロード可能

7 | 各校PTAへ情報提供を依頼

今回の分科会実施内容をぜひ各校PTAへお持ち帰りください。

～参加者の皆さまへ～

本日の講演内容をぜひ、各校PTAにお持ち帰りいただき、運営委員会や勉強会などでLGBTについて話し合いの場を持っていただけると幸いです。

なお、各校で実施いただいた結果は、ぜひ県高P連へフィードバックをお願いいたします。県高P連のホームページに掲載させていただきます。

報告期日：平成31年3月31日(日)

報告方法：kana.koupren@kanagawa-koupren.org までメール
※件名に【人権啓発活動報告 ○○高校】と記載いただき、本文に回答者の連絡先を記載ください。

実施は任意です。

不明点等ございましたら高P連事務局までお問い合わせください。

※事務局から連絡を受け分科会担当よりご連絡します

● 配付した資料、講演内容を基にして各校での勉強会の開催を依頼



2校から実施結果の報告

川崎北高校 12/8運営委員会
希望ヶ丘高校 1/26運営委員会

8 各校からのフィードバック 希望ヶ丘高校

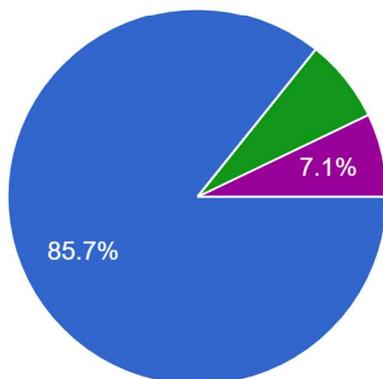
- お二人の講師の先生方の親御さんとの関わりをメインに話した。
『ホモ、レズ、おかま、オネエ、男女、～らしくない』などの言葉について、テレビで流れたときもさりげなくキャプションのように子どもたちにも**それを耳にして傷つく人がいること**を想像して欲しいと伝えた。
- シンプルに『～ねばならない、でなければならぬ』という考え方を疑い常に**想像力をはたらかせること**を心掛けることを提案。
当事者の方と接した時に知識をひけらかし理解あるアピールをするのではなく、その人の出方を待ちまず**自分自身がその人の信頼に足りる人間になる**ことを心掛けてほしいと伝えた。
- **関心を持っていただけ情報が少なかった**との意見が多く今回の研修の意義を感じた。海外に暮らしていた経験のある方によるとアメリカ（地域による）では普通にLGBTの方が学校にもオープンに存在。
- 高校生二年生でゲイであることを自覚し一人で生きていく覚悟をまだ子供のうちにせざるをえなかった辛さ、そんな思いをする子を減らすためには**周りの理解と知識が必要**。
親御さんにカミングアウトはしなかったけれど親御さんから『結婚しないの』みたいな話はされなかったという部分はマイノリティでなくても親しき仲の礼儀として肝に銘じたい。
- **性の問題は食の好みに似ている**とおっしゃっていたのが目からウロコでした。どんなに体に良くても、みんなが美味しく思っても苦手なものは苦手だし場合によってはアナフィラキシーで命を落としかねない。**こだわり方も度合いも人さまざま**。個人の自由なのだからそれについて非難されることも蔑まれることも違う。ただ食の好みと違うのは性についてはなかなか大らかに語られることが憚られるデリケートさが悩ましい。

9 参加者アンケート結果①

- アンケート回答率は低い貴重なご意見を多数いただきました

LGBTについて理解できましたか？ 理解者になれそうですか？

14件の回答



- だいたい理解できたし、理解者になれそう
- だいたい理解はできたが、理解者にはなれない
- 理解できなかった
- 理解できましたが、理解者としてどうしたらいいのか、ますます迷うようになりました
- 中学生の頃より気になっており、現在はアライとして認めてもらえた...

10 参加者アンケート結果②

●LGBTやアライについてもっと説明してほしい点

- 自分自身で「もしかしたら」と気づいた時に、「いや、違うかも」と否定しようとしたり、**怖れを感じたりする事はあるのでしょうか？**
- 現実にLGBTであることをカミングアウト出来ない苦しみを持っている人に対して**具体的にどうやって向き合えばいいのか**伺ってみたかったです。
- **アライだと気付いてもらう方法がありますか。**例えば認知症サポーターのオレンジリングや体調が優れない人のヘルプマークなど。
- 理解は出来るし尊重すべきと思うが、ストレートの子を持つ親の立場として、パートナーにいわゆるLGBTの方を子どもが選んだ場合、**冷静でいられるかわからない。**子孫繁栄という面からどういった取り組みがあるのかは聞いてみたい。



11 参加者アンケート結果③

●分科会に参加してご自身が感じたことや気になること

- 私の周りにはLGBTの方がいらっしゃらないのですが、もし周りの方からカミングアウトを受けたら正直ビックリして何も言えないと思います。カミングアウトされた方を、**色眼鏡で見えてしまうかも知れません。**
共感より知識。色眼鏡をかけながら、偽善者ぶって共感しているフリをするより、**まずは知識を得ることがアライへの初歩**だと思いますし、当事者のノブさんと、もちこさんのお話を聞くことが出来て良かったです。
- のぶさん、もちこさん、今日は貴重なお話をありがとうございました。
短い時間の中で、基礎知識の一部であったとは思いますがとても勉強になりました。
私自身、人の親になった今、まだ子供たちとLGBTの方々の話をしたことがありません。**今こそ話す時期**だと思い帰りました。
親の学習の場としての今日の機会を大切にしたいと思います。
そして、中学生の保護者にもこの学びの機会をもたれることを願います。
単発の研修ではなく、継続してこそその人権教育ですから、ここに**PTAの大きな役割**が立証できると考えて、今後も皆様方の活動を応援していきます。

12 | 参加者アンケート結果④

●つづき

- 身近にLGBTで悩んでいる友人がいるので、分科会で講師の方のお話を伺って大変勉強になりました。
- 性に関する事だけではなく、どうしても**人間関係を上手く築けない方などにも共通した接し方**が出来るのではないかと感じました。
- 性的な自分の事を知らない人の前で語るのはとても勇気の要ることだと思います。今回のお話を自分の宝物にしたいと思います。**自分のできる範囲でアライになれるよう**勇気を出してみますね。
- 身近なところでLGBTの方がいて、普段より普通に受け入れています。自分の子供がもし…となった時はどういう反応が出来るか、**すぐに理解できるかは正直わかりません。**



13 | 県高P連大会分科会報告④-4 参加者アンケート結果

●つづき

- 短い時間でしたがポイントを明確にしてお話いただき大変参考になりました。
- 当事者の方から直接お話を聞いたことは貴重だと思います。こちらから何かするというより、もし打ち明けられた時にどうするか。難しい問題ではありますが、**一個性として受け入れられたら**なと思います。
- 私は、当事者だ(と思う。)今まで相手にされず冗談だと思われ続けている状況なので、言うのを止めている。**近い将来はアライが増えて良い社会になる事を**願います。
- 基本的なことがよくわかり、**単Pに帰ってからも、説明がよくできました。**参加した役員が自分の言葉で説明ができ皆さんにもよく伝わりました。



16 説明要旨

●インクルーシブ教育とは

- ◆ 共生社会の実現を目指し、すべての子どもができるだけ同じ場で学び、ともに育つことを目的として推進している教育。

●インクルーシブ教育実践指定校

- ◆ 現在パイロット校は3校（茅ヶ崎、足柄、厚木西）、令和2年度新入生から14校に拡大し、県内すべての地域から通学可能に。
- ◆ 指定校では、授業、学校行事、生徒会、部活動など毎日の学校生活を他の生徒と共に過ごす。
- ◆ ICTなども活用し工夫された授業を実施するなど、3年間を通して充実したキャリア教育を実施。

●課題は卒業後の進路

- ◆ 令和元年度には最初の卒業生が出る。卒業生に対しどのような進路（進学や就職）を提供できるのかが今後の課題。

17 貧困が及ぼす青少年への影響①

発表者 鶴見総合高校PTA副会長（H30）

日本で問題視されている貧困は「**相対的貧困**」です

- **「絶対的貧困」**
いわゆる発展途上国で見られるような生存にかかわる貧困。周りからわかりやすい。
- **「相対的貧困」**
食生活や服装も一見普通に見えるので周囲から気づかれず、見えにくい。

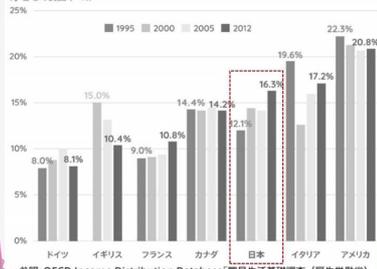


Copyright © 2013 Kanagawa Prefectural High School PTA Union. All rights reserved.

日本の相対的貧困率は高い割合で、年々増え続けている

■主要国の子どもの貧困率

(子どもの貧困率：%)



参照：OECD Income Distribution Database* 国民生活基礎調査（厚生労働省）

- 日本の子どもの6～7人に1人が貧困といわれているが、周りにそのような子どもを見かけないことがほとんど。
- これは、生存にかかわる「絶対的貧困」ではなく、日本で問題視されているのは、国民の平均取得の50%以下の家庭を「相対的貧困」としており、年々増え続けている。
- 相対的貧困は家計に余裕がなくギリギリの生活をしているが、一見不自由なく生活しているように見えるので周りからわかりにくいのが特徴。

18 貧困が及ぼす青少年への影響②

子どもの貧困の原因とは、
<http://child-poverty-symptom.it/infocenter/sitk> 子どもの貧困原因シミュレーションより引用

「ワーキングプアの増加」
 働いているにもかかわらず収入が少ない
 母子家庭の約6割がワーキングプア

「一人親世帯の増加」
 一人親世帯では子どもの貧困率57.3%
 父子家庭の貧困率・・・19%
 母子家庭の貧困率・・・66% (80%以上が生活苦を実感)

「所得の再分配」
 公的補助による、多額の税金負担で貧困に

2019/3/23

- 貧困の原因は、ワーキングプアの増加、一人親世帯の増加（日本はひとり親世帯の貧困率が高い）、社会保障などの公的補助によって、補助よりも税負担が高くなる所得の再分配も原因。
- また、貧困によるモチベーションの低下は、自己肯定感の喪失につながり、学力低下を招いているといわれている。
- 未来をつくる子どもたちが家庭の経済状況により、夢をあきらめたり、修正するようなことのないよう、今の状況が少しでも改善してくれることを望みます。

貧困と学力にも相関関係が？

子どもの貧困 → 家庭の経済的貧困 → 子どもの学習機会、遊びの喪失 → 低学力 低学歴

親の年収と正答率の関係
 算数B
 国語B

2019/3/23

19 青少年の性の問題①

発表者 大和西高校PTA副会長（H30）

自撮り被害とは
 SNSなどを通じて知り合った人に脅されたり、だまされたりして、自分の裸体画像をメール等で送信させられる被害のこと

被害児童の態様別の割合

【児童ポルノ事件】児童が自らを撮影した画像に伴う被害に遭った児童の推移

高校生の自撮り被害が急増！

2019/3/23

被害に遭うきっかけはSNSの利用

SNSに起因する被害は、高校生が近年増加傾向

被疑者とは お小遣い欲しさに会ってしまう

【被疑者と会った理由】被疑者と会った被害児童 302人

【学校における指導状況】有識者及び教職員を頼った被害児童 788人

2019/3/23

- 自撮り被害が近年増えており、高校生の被害が急増している。
- 特にSNSに起因する被害が高校生では増加傾向にあり、被疑者と会ってしまう理由には、金銭目的のほかに、「寂しかった」「優しかった」など切ない理由も。
- 学校における指導は行われているものの、生徒たちがそれを「わからない」「覚えていない」と他人事になっている状況が問題。

22 | LGBT

LGBT※とは？

英語	日本語	(おおまかな) 定義
L レズビアン Lesbian	女性同性愛者	同性を好きになる女性
G ゲイ Gay	男性同性愛者	同性を好きになる男性
B バイセクシャル Bisexual	両性愛者	性別にかかわらず、異性を好きになることも同性を好きになることもある人
T トランスジェンダー Transgender	性別越境者	生まれた時に法律的／社会的に割り当てられた性別にとわれない性別のあり方を持つ人(性別違和、性同一性障害者を含む)

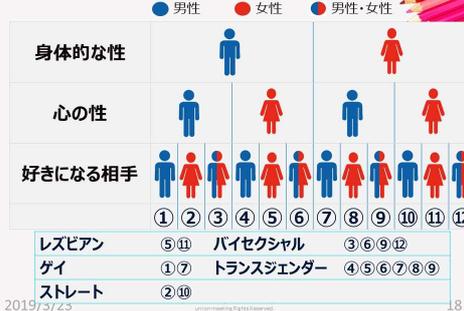
※LGBTs、LGBTQ、LGBTQIA、LGBTQ+等様々な言い方があるが、本勉強会においては、LGBTをセクシュアルマイノリティーの総称として使用する。

2019/3/23

Copyright © 2019 Understanding Rights Awareness
Understanding Rights Awareness

17

セクシュアリティはグラデーション



2019/3/23

Copyright © 2019 Understanding Rights Awareness
Understanding Rights Awareness

18

1クラスに3人いるといわれている



- 「LGBT」という言葉の浸透率は68.5% (2015年比30.9P増)
- 「LGBTについて正しい理解をしたい」という意向を持つ人は76.0%

出展「電通ダイバーシティラボ」LGBT調査

2019/3/23

Copyright © 2019 Understanding Rights Awareness
Understanding Rights Awareness

19

- LGBTという言葉はここ数年で認知度が急上昇。
- 該当者の割合も増えており、1000万人規模に。
- 正しく理解することはもちろん、どう接するべきかについても知っておく必要がある。

23 | 参加者アンケート結果①

● 本日の勉強会についてのご意見、ご感想

- 非常にいい映画でした。映画の内容には、知らない事も多く、勉強になりました。が、いざ**自分の子どもがそうなった時に、どう対応すればいいのか**? 複雑な気持ちになりました。もっともっと勉強する機会があれば、勉強していきたいと思いました。
- すべての人が、生きやすくなる社会を作る為に**自らも学び実践して行く事の重要性**を感じる事が出来ました。
- LGBTの家族がいます。**このような機会**で**理解を深めて**頂くことが本当にありがとうございます。
- 聞いたことがあるだけの知識が、今回の参加で少し理解でき、**自分出来る範囲でも補って**行けたらなと思いました。
- 社会が**各個性を大事に尊重**できるようになればいいなと思うようになりました
- お互いの違いを容認し、**全ての人に居心地の良さ**を感じられる社会になるよう願います。変わりゆく価値観にも、**敏感でありたい**と思いました。

24 参加者アンケート結果②

●つづき

- 資料も大変見やすく、限りある時間内に盛りだくさんの内容をまとめてくださり大変ありがとうございました。
相対的貧困という言葉初めて聞きました。**貧困が原因で心と身体まで縮こまらないように、夢や希望を描ける社会、教育、親自身の成長が大切だ**と思いました。
我が子だけではなく、他者にも表面上の差異にとらわれず、**寄り添い、見守り、信じる大人**になりたいです。学ぶ機会をありがとうございました。
- インクルーシブ教育、貧困、青少年の性、LGBT、人権と様々なお話の中で、共通することは「**自分自身と向き合うことの大切さ**」だと感じました。
全ての答えは「自分の中」にあると思うので、これからも自分の感情に寄り添いながら、一度きりの人生を丁寧に過ごしていきたいと思いました。
高P連の皆さま、このような気づきの機会をいただき感謝します。

25 参加者アンケート結果③

●つづき

- どれも興味深いテーマでした。映画の中で『**日本は真の人権教育がされていない**』という言葉が深く突き刺さりました。少子化なのにその貴重な子供たちが大切にされていない貧困やいじめにつながる差別のある現実が辛いです。人権週間でも性的マイノリティの話題は未だにあまり触れられていない気がします。基本的人権の尊重はもちろん、せめて安全な給食の無償化、優秀な子供への返還不要の奨学金制度くらい実現してもらえないものか、先日の新聞記事に載っていた**10代の子供の死因の一位が自殺**なんて悲しくなります。
- 障害は不便だが、不幸ではない。確か乙武さんの言葉だったと思います。
テーマは障害や貧困、LGBTなど特殊な人達対象のものでしたが、
いわゆる普通の人にもそれぞれに事情があり、悩んでる人がたくさんいます。どの悩みが深刻だとか、そうでないとかは関係なく、誰もが他人の目を意識し過ぎずに、**自分らしく生きていける社会**であるために、何ができるか？何をしなければいけないか？考えさせられました。
自身の家庭においては、**母としてありのままの子どもを認め、受容する事は、実はとてもシンプル**。改めて子どもとの関係を考える、とても貴重な時間を頂く事ができました。
忙しい日々の中、このような活動は大変だった事と思います。ありがとうございました。

26 当日質疑等

質問	回答
全ての高校にインクルーシブ教育に対する願いをしているということだがそれはどういうことか。	パイロット校ができる以前も共に生きるや、支援教育などを行ってきた。インクルーシブ教育という言葉が出てきたころからすべての県立高校に協力をお願いしている。ただし、個別に勉強会などは開催していない。各校には人権教育など、通常の行事等の中で紹介をお願いしている程度。
生徒と実際に障害を持った方。軋轢などが生まれた場合の対応体制は取っているのか。授業についていけない時などのケアはどうか。	普通の県立高校に違うことをお願いするので、そのための要員配置はしていかなければいけない。チームティーチングとして、対象のクラスには複数の先生を配置し授業を実施する等を行いながら支援している。また、パイロット校には各校にリソースルームというものを配置し、対象の子どもを個別に指導する事象があるときには利用している。
実践指定校になるPTAとして、どうかかわったらいいかなど理想はあるか。	保護者の方が理解を深めていただければ今はいい。まずは普通に接するというのが大事。無理のない範囲でやっていただきたい。

27 最後に

- 第4分科会活動に参加して・・・

令和元年度も健全育成分科会を実施予定

- 子どもの幸福を第一に願う保護者、教職員として、自ら学び、子どもの健全育成について理解を深めていく必要があります。このため、PTAは会員に対して、常に教育的素材や学習機会を提供していくことが大切です。
(県教育委員会PTA活動のためのハンドブックより)
- 自らの学びの場として、また、自校のPTA活動のより一層の充実のため、この健全育成分科会で一緒に活動をしませんか。
- みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

以上